

**平成 2 6 年度
資機材搬送車 仕様書**

裾野市消防本部

第1 総則

この仕様書は、平成26年度に裾野市消防本部（以下「本部」という。）が整備する、資機材搬送車（以下「車両」という。）について必要な事項を定める。疑義が生じた場合は本部と協議をし、誤りのないようにすること。

第2 規格・製作上の注意

車両は、本仕様書に定めるところによるほか、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準及びその他関係法令の規格に適合し、かつ、緊急自動車として承認が得られるものであること。

第3 製作上の注意

消防車両として最適の構造及び性能を十分に有し、製作上の注意点は、次のとおりとする。

- (1)各装置及びパーツの取り付けは、原則としてボルト締付けとすること。
- (2)車体全般にわたり防水措置及び防錆措置を十分に行うこと。
- (3)清掃、点検、調整及び修理が容易に行えること。
- (4)使用取扱上の安全性、操作性を十分に考慮したものであること。
- (5)全体的に車両重量の軽減化を図り、前後左右の荷重バランスを十分に考慮すること。
- (6)堅ろうにして長期の使用に十分に耐え得るもので、維持管理が経済的に行えるものであること。
- (7)水洗い整備ができるとともに、残水等の生じない構造とすること。又フェンダー等で器具接触等により塗装剥離のおそれのある部分には、適切な保護対策を講じること。

第4 仕様打合せ

受注者は、契約締結後1週間以内に仕様内容等について本部と打合せを行い、打合せ終了後1週間以内にその打合せ内容の確認書を提出すること。

第5 提出書類

- 1 受注者は、上記確認書の提出後2週間以内に次に掲げる承認図書を2部作成し、本部へ提出し承認を受けること。

- (1)製作工程表
- (2)承認図
- (3)特殊装備部分の電気配線図
- (4)消費電力一覧表
- (5)その他本部が必要と認めたもの

- 2 受注者は、納車時に次に掲げる完成図書を作成し、本部へ提出すること。

- (1)製本（3部）
 - ア 車両仕様書
 - イ 完成図
 - ウ 外観5面カラー写真
 - エ 改造概要等説明書
 - オ 車検証の写し
 - カ リサイクル券の写し
 - キ 車庫証明の写し
 - ク 自動車損害賠償責任保険証明証の写し
 - ケ その他本部が指示するもの。
- (2)車両取扱説明書（3部）
- (3)電子媒体（一つの電子媒体に記録し1部）
 - ア 車両仕様書
 - イ 完成図
 - ウ 外観5面カラー写真
 - エ 改造概要等説明書
 - オ 車検証の写し
 - カ リサイクル券の写し
 - キ 車庫証明の写し

- ク 自動車損害賠償責任保険証明証の写し
- ケ その他本部が指示するもの。

第6 検査、受領及び保証等

1 検査申請

検査の申請は、検査日の2週間前までに検査日及び検査場所を明記した書面で本部に申請すること。

2 中間検査

中間検査は、艀装途中に実施するものとし、検査時期については別途指示する。

3 納入検査

納入検査は、納入者が立会のうえ実施する。

4 受領

納入検査の実施後、本部が合格と認めた場合に受領するものとする。

5 保証

保証期間は、車両納入後1年以上とし、保証書を提出すること。設計、製作、材質等の不良により起因する不都合の発生については、保証期間後であっても受注者において無償により是正修復すること。

6 技術指導

納入者は、車両及び艀装装備品等の取扱いについて技術指導を行うこと。

第7 納期等は次のとおり

1 納入場所：裾野市消防本部 静岡県裾野市石脇5 1 5 番地

2 納入期限：平成27年2月20日(金)

3 発注台数：1台

第8 登録手続き等

車両は、緊急自動車として陸運事務所の新規登録検査に合格し新規登録されていること。

車両の新規登録及び廃車登録に関する一切の経費については、受注者が負担する。ただし車両にかかる自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及び自動車リサイクル法にかかわる経費は本部が負担する。

第9 廃棄処分

受注者は下記のとおり、無償にて廃車車両を処分すること。

1 廃棄車両 1台

(サイレン、赤色回転灯は必ず粉碎処分し、本部名は塗料で塗りつぶすこと)

2 概要

- | | |
|------------|-------------|
| (1) 車体の形状 | 消防車 |
| (2) 車名 | トヨタ |
| (3) 型式 | T-Y Y 6 1 改 |
| (4) 初年度登録 | 平成4年10月 |
| (5) 車検有効期間 | 平成26年10月25日 |
| (6) 車両重量 | 1、600kg |
| (7) 車両総重量 | 3、180kg |

第 11 車 両

本部が購入する車両の主要諸元は、次のとおりとする。

1 車両緒元

- (1)シャーシ : 車両総重量 6,000kg 未満 (最大積載量 1,800kg 以上)
- (2)キャブ形状 : 標準ダブルキャブ
- (3)エンジン : ディーゼルエンジン 出力 96kw (130Ps) 以上
(最新の排ガス規制に適合したもの)
- (4)駆動方式 : 4WD
- (5)トランスミッション : 前進 5 段以上の変速、後進 1 段
- (6)後 輪 : ダブル式
- (7)タイヤ : ラチアルミックス (タイヤサイズはすべて同型)
- (8)燃料タンク容量 : 60ℓ以上
- (9)乗車定員 : 4人以上
- (10)その他 : オルタネーター及びバッテリーは能力の大きなものに変更すること。
(走行用及び特殊装備品等の使用に対し、十分な容量を確保すること)

2 荷台及び油圧式昇降装置

- (1)荷 台 : セミロング
- (2)荷 台 材 質 : 木製
- (3)荷 台 内 寸 法
 - ア 長さ 2,450mm 以上
 - イ 幅 1,800mm 以下
 - ウ 高さ 左右 380mm 後部 850mm 以上
 - エ 床面地上高 980mm 以下
- (4)幌 車 架 装
 - ア 荷台部分には、走行時の強風等に十分耐え天井部に水の溜まらない構造で、取り外しが容易にできる堅牢な幌を設ける。
 - イ 幌の高さは荷台床面から 1,600mm 以内とする。
- (5)油圧式昇降装置
荷台後部に最大許容リフト荷重 300kg 以上を設置し、地上設置面には厚手のラバーを貼付すること。

3 車両の取り付け品等

別表 1 のほか、次のとおりとする。なお、記載している数量は 1 台分の数量とする。

- (1) エアコン
- (2) パワーステアリング
- (3) パワーウィンド (前席)
- (4) エアバック (運転席)
- (5) 集中ドアロック
- (6) フォグランプ
- (7) 電動格納ミラー (助手席側)
- (8) 時計
- (9) ラジオ (AM・FM)
- (10) サイドバイザー
- (11) フロアマット (ゴム製)
- (12) 泥よけ (フェンダー後方)
- (13) ホイール付きスペアタイヤ (1 本)
- (14) ホイール付きスタッドレスタイヤ (6 本)
- (15) タイヤチェーン
- (16) 車両用鍵 (標準装備分を含め 3 本)
- (17) 停止表示板
- (18) ブースターケーブル

7 本車両の積載品・付属品
別表2のとおり

第11 車体の構造

- 1 車両は、常時登録された車両総重量の状態において十分耐え得るものであること。
- 2 車両は、堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、強度を損なうことなく軽量化を図るとともに使用取扱い上の安全性及び操作性、点検、修理等の維持管理を十分考慮したものとする。
- 3 使用する材料は、全て新規製品、日本工業規格等に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。

第12 艤装等

1 艤装、取り付け品及び付属品

- (1) 車両前部に消防章を取り付けること。
- (2) 荷台後部に油圧式昇降装置を取り付けること。
- (3) フロントグリルにデイタイム式のLED青色燈を設けること。(イグニッション連動式)
- (4) ルーフ前方中央部に赤色警光灯(スピーカー内蔵型)を取り付けること。
- (5) 赤色警光灯スイッチは、電子サイレンアンプに組み込むこと。
- (6) 電子サイレンアンプ(警鐘の擬似音を発することができ、かつ、拡声装置としても使用できるものであること。専用マイク付き。)を設置すること。取り付け位置等は別途協議とする。
- (7) 運転席側に車輪止め2個を取り付けること。
- (8) 自動車用消火器を取り付けること。
- (9) 車両前部中央からキャビン後部にかけて本部の指定するラインを入れること。
- (10) 荷台下部に資器材収納ボックスを設置すること。
- (11) 荷台の鳥居にスコップの取り付け金具を2本設置し、併せて消火栓開閉器具(支給品)の取り付け金具を設置すること。
- (12) DC/ACコンバーター(500W)を取り付け、車内1ヶ所、車外1ヶ所にコンセントを設けること。(車外に設けるものは防滴型とすること)

2 電装関係

- (1) バッテリー容量は、走行及び特殊装備品の使用に対し十分な容量を確保すること。
- (2) 赤色警光灯及び無線機器等の特殊電装品の電源関係は、ACC以上で通電すること。ただし無線機のメモリー用電源についてはこの限りではない。
- (3) 消防無線機の載せ替えについては、次のとおり行うこと。
なお無線機の種類、アンテナ及び各ケーブルの線種等は別途指示する。

- ア 無線用アンテナをルーフ上部の送受信の支障のない位置に取付けること。
- イ 無線機取付け用架台を助手席側から操作が容易な位置(以下「無線機取り付け位置」という)に設けること。
- ウ 室内にアンテナ取付け部を容易に点検できる点検口を必要により設けること。
- エ アンテナケーブルは室内に露出しないよう内張り配線とし、無線機取り付け位置まで配線すること。なお内張り内でケーブルのばたつき音が生じないように必要な処理をすること。
- オ 無線機用電源ケーブルは、バッテリーから無線機取り付け位置まで配線し、茶色線はACCの位置で通電するように配線とすること。
- カ 助手席付近に送受話器取付け位置を確保し、送受話器及び送受話器用ブラケットを新たに取り付けること。(送受話器及び送受話器用ブラケットの取り付け位置については本市担当者と協議すること)。
- キ 各ケーブル類は余丁を持たせた長さとし、余丁の長さについては本市担当者と協議すること。
- ク 各配線の端末は、線種を明記すること。

3 無線機等の移設

- (1) 旧車両積載の車載型アナログ消防無線機を移設設置し、無線交信が円滑に行えるようアンテナを車両キャビン上部に設置する事。
- (2) 旧車両積載の車両導体管理装置（A V M）一式を更新車両の指示する場所に移設設置すること。
- (3) 車両キャビン上部にデジタル消防無線のアンテナ基部を左右2ヶ所設置し、将来設置するデジタル無線装置と容易に接続できるよう余裕を持たせた配線をループ状にまとめ、ダッシュボード付近に配線しておくこと。

4 塗装及び記入文字

- (1) 各スイッチ部には、表示プレートを取り付けること。
- (2) 車両の外観塗装全般（ホイール部分及びアルミ部分を除く）を、消防色（朱色）とすること。
- (3) 車両の記入文字は車両後部ドア左右に、「裾野市消防署」と記入すること。
文字は、白色丸ゴシック体で、全て左から右への横書きとする。また各記入位置に対しバランスよく表示すること。詳細については別途協議とする。

第13 補足

- 1 車両取り付け品等において同等以上の性能を有するもので応札する場合は、本部に性能資料等を提出し、承認を得ること。
- 2 納入時まで同等以上の性能を有する新開発・販売された資機材等を備える場合は、本部と協議をし、承認を得ること。

【別表 1】

艀装、取り付け品及び取り付け装置

番号	品名	適用	数量
1	消防章	台座付き	1 式
2	赤色警光灯	ウイレ社製 FV8SHC-1260	1 式
3	電子サイレンアンプ	上記赤色警光灯対応機種（専用マイク付き）	1 式
4	フレキシブルマイク	運転席に設置（スイッチ付き）	1 式
5	車輪止め取り付け	右側アオリ下部に収納できること	1 式
6	消火器取り付け	専用ボックスに収納し積載	1 式
7	無線アンテナ・配線取り付け	デジタル無線用アンテナ基部 2ヶ所及び配線 アナログ無線用アンテナ 1ヶ所及び配線	1 式
8	E T C	車両メーカー純正品	1 式
9	H D D ナビゲーション	Bluetooth 機能付き	1 式
10	ドライブレコーダー	車両メーカー純正品	1 式
11	音声アラーム	左折及び後退時に音声で注意喚起 夜間消音機能及び解除スイッチ付き	1 式
12	荷台夜間作業用照明灯	35W 以上	1 式
13	スチールチェーン	車両メーカー純正品	1 式
14	スタッドレスタイヤ	ホイール付	1 式
15	赤色点滅灯	ウイレ社製 M4FCR24 車両前部左右設置	2 個
16	荷台幌	幌の高さは荷台床面から 1,600mm 赤色	1 式
17	塗装・記入文字	文字は白色丸ゴシック体	

- 1 取り付け品において同等以上の性能を有するもので応札する場合は、本部に性能資料等を提出し、承認を得ること。
- 2 納入時まで同等以上の性能を有する新開発・販売された資機材等を備える場合は、本部と協議をし、承認を得ること。

別表 2

積載品・付属品（記載している数量は 1 台分の数量）

番号	品名	適用	数量
1	車輪止め	ゴム製（黄色）	2 個
2	消火器	自動車用消火器（薬剤量 1 . 8 k g 以上） （車外又は車内を検討）	1 本
3	停止表示板		1 基
4	荷台用布シート	本車両対応品（サイズは別途指示）	1 枚
5	収納ボックス	キャビン内後部座席下に収納ボックスを有効活用できるよう設置	1 式
6	フロアマット	スタンダードタイプ	
7	デッキマット	メーカー純正品	
8	ゲートプロテクター	メーカー純正品	

- 1 積載品・付属品において同等以上の性能を有するもので応札する場合は、本部に性能資料等を提出し、承認を得ること。
- 2 納入時まで同等以上の性能を有する新開発・販売された資機材等を備える場合は、本部と協議をし、承認を得ること。